



2024年度

土佐高等学校 生徒募集要項

入学試験

2024年 1月18日(木)・19日(金)

特色ある土佐の入試

2011年度より、他の学校には見られない独自の入試を実施しています。
その特色の主な部分は以下の通りです。

①入試の方式

- 入試にはS方式とH方式という2つの受験方式があります。
S方式、H方式の出願資格や選抜方法をよく考えた上で受験方式を決定してください。
出願の際には、S方式とH方式のどちらか1つの受験方式を届け出してもらいます。

②募集人数

- 募集人数はS方式とH方式を合わせて約50名です。

③出願資格

- S方式の出願資格は、志願者本人が「2024年3月に中学校卒業見込みの者で、合格したら必ず本校に入学すると確約できる者」であることです。
- H方式の出願資格は、志願者本人が「2024年3月に中学校卒業見込みの者、または、令2023年3月に中学校卒業の者」であることです。

④選抜方法

- S方式、H方式ともに筆記試験〔国語・社会・理科・英語(リスニングを含む)・数学の5教科、各100点で合計500点満点〕を行い、受験生全員に同じ試験問題を課します。
- それぞれの方式で500点満点の成績を算出し、両方式を合わせて順位付けします。この成績結果と面接の結果を総合的に判断して、合否を決定します。

・ S方式での成績の算出

2つの成績AとBを算出し、AとBのうち高い方の得点をS方式での成績とします。

成績Aは、筆記試験のみの総得点(500点満点)です。

成績Bは、筆記試験の総得点を圧縮したもの(その割合は非公表です)に、**学習実績**(3年次の評定平均値)を点数化したものを加算し、さらに、**課外活動・学外活動における実績**(1年次～3年次)がある場合にはその実績を点数化したものを加算した合計得点(500点満点)です。
たとえば、次の2つの例のように成績を算出します。

例1

筆記試験

 A 350点

筆記試験	実績
------	----

 B 390点

この人の成績は390点となります

例2

筆記試験

 A 380点

筆記試験	実績
------	----

 B 350点

この人の成績は380点となります

・ H方式での成績の算出

筆記試験のみの総得点(500点満点)をH方式での成績とします。

入学試験要項

土佐高等学校入学試験の受験方式には、S方式とH方式の2つがあります。2つの方式の大きな違いは出願資格と選抜方法が異なることです。前頁の「特色ある土佐の入試」の部分や、以下に記載されている出願資格と選抜方法の部分を熟読して、その違いを把握してください。そして、どちらの受験方式が自分にとって適しているのかを検討した上で、出願の際にS方式とH方式のうち、どちらか1つの受験方式を選んで届け出てください。なお、S方式を選んだ場合には、合格した際に必ず本校に入学するという確約の署名、捺印を求めます。

1. 募集人数 第1学年男女 S方式とH方式を合わせて約50名

2. 出願資格

S方式の出願資格	H方式の出願資格
2024年3月に中学校卒業見込みの者で、合格したら必ず本校に入学すると確約できる者。	2024年3月に中学校卒業見込みの者、または、2023年3月に中学校卒業の者。

3. 出願手続

(1) 出願書類の受付期間

2024年1月5日(金)から1月10日(水)まで。

持参する場合は 受付時間 平日は午前9時～午後4時。

土曜日は正午まで。

7日(日)と8日(月・祝)は受け付けない。

郵送する場合は 2024年1月10日(水)午後4時までに必着のこと。

(2) 出願書類の提出方法

出願書類をとりまとめ、必ず入試出願用の封筒に入れて受け付け期間内に提出すること。

郵送の場合には「書留郵便」とすること。

(3) 出願場所

土佐高等学校事務室 入試係

〒780-8014 高知市塩屋崎町一丁目1番10号

TEL 088-833-4394

(4) 出願に必要な書類等

入学志願票、受験票・写真票、受験票送付用封筒は、この生徒募集要項に添付してあるものを使用すること。受験方式届出・確約・志望理由書、調査書、学習成績一覧表、活動記録報告書は、この生徒募集要項に添付してあるものを使用するか、本校ホームページよりダウンロードしたものを使用するか、もしくは同じ様式でパソコン等により自ら作成したA4サイズのものを使用すること。

どの書類等も記入にあたっては、手書きの場合は黒色のボールペンを使用し、明確に記入すること。どの書類も※印の欄には何も記入しないこと。誤記の場合は、2本線で消して訂正し、誤りの部分に訂正印（記載者の印）を押印しておくこと。

出願書類等	注 意 事 項
入 学 志 願 票	本人氏名（住民票記載通り）、ふりがな、性別（○で囲む）、生年月日、現住所（住民票記載通り）、郵便番号、電話番号、出身小中学校名および卒業年、在学中学校所在地、保護者氏名、印、ふりがな、本人からみた続柄等の必要事項を記入する。ふりがなの忘れが多いので注意すること。
受験票・写真票	受験票、写真票にそれぞれ、本人氏名、ふりがな、性別（○で囲む）を記入し、同一の本人の写真を貼ること。写真は3ヶ月以内に撮影したもので、正面上半身、無帽、無背景、縦4cm×横3cmの大きさとする。写真裏面に本人の氏名を記入しておくこと。特に、受験票への貼り忘れが多いので注意すること。受験票と写真票は切り離さず、そのままにしておくこと。
受験方式届出・ 確約・志望理由書	受験方式届出の部分のS方式、H方式の欄のどちらか一方に必ず○を記入すること。S方式で届け出の場合は、合格したら必ず本校に入学するという確約の部分に本人、保護者がそれぞれ署名し、さらに保護者印を捺印すること。また、S方式、H方式の届け出によらず志望理由の部分には、本人が自筆で本校を志望する理由を記入すること。
調 査 書	学校長が作成し、学習成績一覧表と合わせて厳封すること。記入にあたっては調査書の用紙の裏面を参照のこと。特に、評定平均値の計算ミス、四捨五入のミスが多いので注意すること。
学習成績一覧表	学校長が作成し、調査書と合わせて厳封すること。記入にあたっては学習成績一覧表の用紙の裏面を参照のこと。
入 学 検 定 料	10,000円。持参する場合は現金または「郵便為替」とし、郵送する場合は必ず「郵便為替」とする。ただし、「郵便為替」の指定受取人の欄には何も記入しないこと。
受験票送付用封筒	一般入試受験票送付用封筒に必要な額の切手（速達を希望する場合も同様）を貼付し宛名を記入すること。ただし、出願書類を直接持参する場合、受験票送付用封筒は不要。
活動記録報告書	S方式で出願する際に、課外活動・学外活動における実績（1年次～3年次）がある場合は、必ず活動記録報告書を提出するとともに、その実績を証明する資料（表彰状、新聞等のコピー（日付つき）や、クラブ顧問・クラス担任等による実績を証明する文書）も必ず添付すること。

（注意）

1. 提出書類に記載すべき事項の記入もれや不備がある場合は、出願書類を受理しないことがある。
2. 入学後であっても、記載された内容が事実と相違することが判明した場合は、入学許可を取り消すことがある。

3. 提出された書類・入学検定料は理由のいかんを問わず返却しない。
4. 提出書類内の個人情報、本校の入試のためにのみ使用し、その他の目的に使用したり、第三者に提供したりしない。

★「課外活動・学外活動における実績」について

- ・ 課外活動・学外活動における実績とは、次のA、B、Cのようなものをいい、中学の1年次から3年次までの間に挙げた実績でなければならない。

<p>A. 地区大会、県大会、それ以上の大会、各種コンクールで挙げた優秀な成績。</p> <p>B. 各方面で、客観的に認められる、卓越した技量、能力を有すること。</p> <p>C. 英語検定準2級以上の取得、漢字検定2級以上の取得、数学検定2級以上の取得、こども県展での推薦、特選受賞、読書感想文コンクールでの上位受賞等。</p>

- ・ S方式で出願する際に、課外活動・学外活動における実績がある場合は、活動記録報告書、添付資料の作成等にあたって、以下のように取り行うこと。
 - ① 必ず活動記録報告書を提出するとともに、その実績を証明する資料（表彰状、新聞等のコピー（日付つき）や、クラブ顧問・クラス担任等による実績を証明する文書で、**用紙の大きさはA4サイズ以下とする**）を添付すること。この添付資料がない場合には、実績の点数化ができなくなるので注意すること。
 - ② 活動記録報告書の作成は、クラス担任、保護者、団体の責任者等があたり、実績を簡条書き（分野ごと学年順に）するとともに1つの実績に添付した資料の枚数を明らかにしておくこと。運動部の場合「スポーツテスト」を実施していれば、その記録も書くことが望ましい。実績の分野が複数にわたる場合は、適当な代表者（たとえば、クラス担任）が一括して作成してもよいし、実績の分野ごとにそれぞれの代表者が作成してもよい。相違ないことを証明する部分には、作成者の所属、部署を明らかにした上で、署名、捺印をすること。
 - ③ 特に、個人の実績でなく団体の実績（たとえば、野球、サッカー、吹奏楽等での実績）の場合は、本人の状況を把握する必要があるため、本人の団体でのポジション、役割、貢献度を必ず書き添えておくこと。
 - ④ 実績の分野ごとにそれぞれの代表者が活動記録報告書を作成する場合や、活動記録報告書1枚に実績を書ききれない場合は、コピー等して活動記録報告書を2枚以上にして作成してもよい。

4. 入学試験等

(1) 入学試験日

2024年1月18日（木）、1月19日（金）。試験の日程は次の表の通り。

	1月18日（木）	1月19日（金）
集合	集合時刻は両日ともに 8：40 集合場所は本校6階にある「筆山ホール」	
1限	国語（50分） 9：00～9：50	英語（リスニングを含む）（50分） 9：00～9：50
2限	社会（50分） 10：05～10：55	数学（50分） 10：05～10：55
3限	理科（50分） 11：10～12：00	面接（1人約10分） 11：10～13：00

(2) 選抜方法

- ・ S方式、H方式ともに5教科の筆記試験〔国語・社会・理科・英語（リスニングを含む）・数学、各100点で合計500点満点〕を行い、受験生全員に同じ試験問題を課す。
- ・ S方式、H方式それぞれの方法で500点満点の成績を算出し、両方式を合わせて受験生全員に順位付けする。この成績結果と面接の結果を総合的に判断して、合否を決定する。
- ・ S方式での成績の算出

2つの成績AとBを算出し、AとBのうち高い方の得点をS方式での成績とする。成績Aは、筆記試験のみを採点した総得点（500点満点）とする。成績Bは、筆記試験の総得点を圧縮したもの（その割合は非公表）に、学習実績（3年次の評定平均値）を点数化したものを加算し、さらに、1年次から3年次までの間に挙げた課外活動・学外活動における実績がある場合はその実績を点数化したものを加算した合計得点（500点満点）とする。

- ・ H方式での成績の算出

筆記試験のみを採点した総得点（500点満点）をH方式での成績とする。

(3) 受験上の注意事項

1. 遅刻した場合、試験開始30分後は受験することができない。
2. 当日持参するものは、受験票、筆記用具（鉛筆もしくはシャープペンシル、消しゴム、定規、コンパス、下敷き）、腕時計、上履きなど。分度器を持参して使用してはいけない。下敷きは無地のものを使用すること。万一、受験票を紛失したり忘れた場合は申し出ること。
3. 不正行為が発覚した場合は直ちに試験を打ち切り、不合格とする。携帯電話等の通信可能な機器を試験場に持ち込むことは不正行為とみなすので、特に注意すること。
4. 面接は個人面接であり、保護者の面接はないので必ずしも付き添いの必要はない。
5. 試験教室の下見の機会は設けない。

5. 合格発表

2024年1月20日（土）午後4時（予定）より、合格者の受験番号を本校ホームページおよび正門玄関前付近に掲示する。

電話による問い合わせには一切応じない。

6. 入学手続

2024年1月22日（月）、23日（火）の両日に、この生徒募集要項に添付してある「払込取扱票」または「振込依頼書」（入学金、建設協力金納付用）を用いて、入学金16万円と建設協力金10万円を郵便局、四国銀行または高知銀行から払い込み（いずれも手数料は不要）、入学手続きを済ませること。

この入学手続きをとらない場合、入学の意志がないものとみなす。入学手続きをした後、2024年3月30日（土）正午までに書面（様式自由）で入学辞退届を本校事務室入試係に提出した場合に限り、建設協力金のみを返還する。これ以降の入学辞退者には一切返還しない。

7. 合格者集合

入学手続きを完了した者に、2024年2月4日(日)午前10時から本校6階「筆山ホール」で、入学に関する書類の配付、説明、諸注意を行う。(約2時間)

合格者本人は保護者とともに、上履き、筆記用具を持参し出席すること。ただし、やむを得ない事情により本人または保護者が出席できない場合は、必ず事前に申し出ること。合格者集合に出席しない場合、入学の意志がないものとみなす。

なお、当日は体操服、上履き、学用品の一部等を販売する。

8. その他

(1) 付き添いの方の控室は中学棟2階図書室とし、それ以外への立ち入りは禁止とする。

なお、図書室では、静粛にするとともに飲食などは原則禁止とする。

(2) 付き添いの方の本校への自動車の乗り入れはできないので注意すること。

(3) 試験問題は、各試験時間終了後に控室(図書室)に掲示する。

(4) 入学に際しては、成年の独立生計者(保護者とは別に生計を営む)で保護者の代理となり得る保証人を必要とする。

(5) 2024年度の授業料等納入金の内訳は下の表を参照のこと。

毎月の納入	
授業料	39,000円
振興会費	1,000円
計	40,000円

4月のみ納入	
クラブ遠征費	1,500円
振興会入会金	1,000円
向陽会入会金	200円
向陽会費	2,200円
その他諸費	1,000円
計	5,900円

(6) 学納金の軽減措置

① 国が行う高等学校等就学支援金

授業料の支援として、下記の年収目安(※)の世帯に「就学支援金」が国から支給される。

(2023年度基準)

年収目安	就学支援金額(月額)
590万円未満	33,000円
910万円未満	9,900円

② 学校独自の減免制度

- ・ 年収目安350万円未満の世帯は、就学支援金支給額を除く授業料の自己負担額を免除する。
- ・ 年収目安590万円～700万円未満の世帯は、就学支援金支給額を除く授業料の自己負担額より月額8,100円を減免する。

※ 年収は両親のうちどちらか一方が働き、高校生1人(16歳以上)、中学生1人の4人世帯の目安。

入試のデータ

(2023年度)

①入試の状況

受験方式	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
S方式	54	54	45	45
H方式	11	11	7	4
合計	65	65	52	49

- ・全体の競争率は1.25倍、S方式の競争率は1.2倍、H方式の競争率は1.6倍。
- ・H方式で入学を辞退した3名の内訳は、県内2名、県外1名。

②各教科の平均点・合格者平均点・最高点、合格者成績の最高点・最低点

教科	国語	社会	理科	英語	数学
平均	65	52	55	69	61
合格者平均	69	56	58	72	65
最高	88	86	83	95	100

- ・筆記試験5教科の合計の平均点は、全体の平均が303点、S方式の平均が302点、H方式の平均が307点。

	全体	S方式	H方式
合格者最高	427	427	424
合格者最低	273	273	292

③S方式で合格した受験生の成績の実例

例1

成績 A	287
成績 B	315
入試成績	315

例2

成績 A	296
成績 B	333
入試成績	333

例3

成績 A	297
成績 B	350
入試成績	350

例4

成績 A	356
成績 B	369
入試成績	369

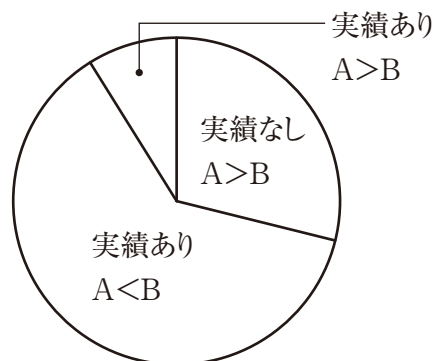
例5

成績 A	346
成績 B	342
入試成績	346

例6

成績 A	333
成績 B	296
入試成績	333

- ・S方式の合格者は、課外活動・学外活動における実績の有無と成績AとBの大小により、「実績あり、 $A > B$ 」、「実績あり、 $A < B$ 」、「実績なし、 $A > B$ 」のどれかに属する。右の図はこれらの割合を円グラフにしたもの。
- ・ $A < B$ の場合、成績Aが少し低くても実績の度合いでBの成績がかなり高くなり合格することもある。(例1、例2、例3、例4を参照のこと)



入試のデータ

(2022年度)

①入試の状況

受験方式	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
S方式	65	65	51	51
H方式	15	15	10	3
合計	80	80	61	54

- ・全体の競争率は1.31倍、S方式の競争率は1.3倍、H方式の競争率は1.5倍。
- ・H方式で入学を辞退した7名の内訳は、県内6名、県外1名。

②各教科の平均点・合格者平均点・最高点、合格者成績の最高点・最低点

教科	国語	社会	理科	英語	数学
平均	65	53	69	70	66
合格者平均	67	57	72	75	71
最高	85	80	95	93	100

- ・筆記試験5教科の合計の平均点は、全体の平均が324点、S方式の平均が323点、H方式の平均が325点。

	全体	S方式	H方式
合格者最高	428	428	410
合格者最低	301	301	316

③S方式で合格した受験生の成績の実例

例1

成績 A	304
成績 B	332
入試成績	332

例2

成績 A	334
成績 B	365
入試成績	365

例3

成績 A	349
成績 B	361
入試成績	361

例4

成績 A	344
成績 B	348
入試成績	348

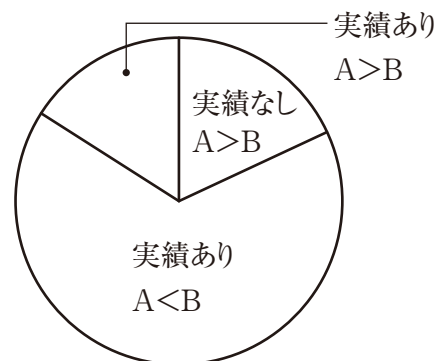
例5

成績 A	320
成績 B	315
入試成績	320

例6

成績 A	408
成績 B	337
入試成績	408

- ・S方式の合格者は、課外活動・学外活動における実績の有無と成績AとBの大小により、「実績あり、 $A > B$ 」、「実績あり、 $A < B$ 」、「実績なし、 $A > B$ 」のどれかに属する。右の図はこれらの割合を円グラフにしたもの。
- ・ $A < B$ の場合、成績Aが少し低くても実績の度合いでBの成績がかなり高くなり合格することもある。(例1、例2、例3、例4を参照のこと)



以下には、出願書類として次の書類を添付してある。いずれの書類も左側のミシン線より切り離して使用すること。

<ol style="list-style-type: none">1. 入学志願票2. 入試受験票・入試写真票3. 受験方式届出・確約・志望理由書4. 土佐高等学校入学志願者調査書5. 学習成績一覧表6. 活動記録報告書	<p>→ 受験票と写真票を切り離さないこと</p> <p>これら4つの書類は本校ホームページよりダウンロードすることができる</p>
--	--

どの書類等も記入にあたっては、手書きの場合は黒色のボールペンを使用し、明確に記入すること。どの書類も※印の欄は記入しないこと。誤記の場合は、2本線で消して訂正し、誤りの部分に訂正印（記載者の印）を押印しておくこと。

また、「出願用の封筒」、「受験票送付用の封筒」を挟み込んである。出願の際に使用すること。

<ol style="list-style-type: none">7. 入試出願用封筒8. 入試受験票送付用封筒
--

さらに、入学手続きの際に使用する「払込取扱票」、「振込依頼書」(ともに入学金、建設協力金納付用)を挟み込んである。

<ol style="list-style-type: none">9. 払込取扱票（郵便局から払い込むときに使用する）10. 振込依頼書（銀行から払い込むときに使用する）

出願場所 土佐高等学校事務室 入試係
〒780-8014 高知市塩屋崎町一丁目1番10号
TEL 088-833-4394

2024年度土佐高等学校入試

受験方式届出・確約・志望理由書

学校名	中学校	氏名	番号	※
-----	-----	----	----	---

受験方式の届出

S方式	H方式
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

あなたはS方式とH方式のうち、どちらの方式で受験しますか。希望する受験方式の欄に○印をはっきりと記入してください。

確約

上でS方式の届け出をした場合、受験生本人とその保護者の方は、以下の確約に署名、捺印をしてください。H方式の届け出をした場合は不要です。

土佐高等学校長 濱田 一志 様			
2024年度土佐高等学校入学試験に合格した際は			
貴校に入学することを確約します	西暦	年	月 日
本人氏名	_____		
保護者氏名	_____ (印)		

志望理由

あなたが本校を志望する理由を書いてください。

S方式、H方式の受験方式によらず、必ず本人が書いてください。

調査書の記入について

- (1) 「志願者」の欄
氏名はふりがなをつける。性は○で囲む。現住所は、高知県内は郡・市名から、高知県外は都道府県名から書き始め、番地まで記入する。卒業見込・卒業のうち該当するものを○で囲み、その年月を記入する。

- (2) 「各教科の学習の記録」の欄
〔評定〕

第1・第2学年の各教科の評定は指導要録に記載されたもの(5段階評定)を転記する。第3学年の各教科の評定は12月末までの成績を総合して、10段階で記入する。ただし、高知県外の中学校において、5段階で評価されている場合は、5段階で記入してよい。また、2023年3月卒業の者については、指導要録に記載されている5段階の評定を転記する。

- 〔第3学年の観点別学習状況〕

全教科の観点は下の表を参照のこと。
評価については、12月末までの学習状況を総合してA、B、Cの3段階で表し、そのうちのAとCについてのみ記入する。ただし、2023年3月卒業の者の評価については、指導要録に記載されているもののうち、AとCについてのみ転記する。

教科	観	点
全教科	I	知識・技能
	II	思考・判断・表現
	III	主体的に学習に取り組む態度

- 〔第3学年の学習成績〕

評定平均値は、第3学年の9教科の10段階評定を平均したもので、小数第2位を四捨五入して小数第1位までの小数で記入すること。5段階で評価されている場合も同様に、5段階評定を平均したものである。

順位は、第3学年の9教科の10段階評定の総合点によって、クラス単位に定めるところとする(同点の場合は同番とし、次番を欠番とする)。5段階で評価されている場合も同様に、5段階評定の総合点によって定めるものとする。

- (3) 「特別活動の記録」の欄

第1・第2学年については指導要録に記載されたものを転記し、第3学年については12月末までの活動において、十分満足できる活動の状況であると判断される場合に「○」印を記入する。ただし、2023年3月卒業の者については、指導要録の記載に基づいて記入する。

- (4) 「行動の記録」の欄

第3学年の状況は、各教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間、その他学校生活全体にわたって認められる行動について、十分満足できる状況であると判断される場合に「○」印を記入する。ただし、2023年3月卒業の者については、指導要録の記載に基づいて記入する。

- (5) 「出欠の記録」の欄

第1・第2学年については指導要録に記載されたものを転記し、第3学年については12月末までの集計を記入する。ただし、2023年3月卒業の者については、指導要録の記載に基づいて記入する。各学年で欠席、遅刻等がある場合は、その主な理由を記入する。

- (6) 「総合的な学習の時間の記録」の欄

第1・第2学年については指導要録の記載に基づいて記入し、第3学年については12月末までの学習活動および各学校で定めた評価の観点を記入し、生徒にどのような力が身に付いたかを記述する。ただし、2023年3月卒業の者については、指導要録の記載に基づいて記入する。

- (7) 「総合所見」の欄

各学年について、人物、行動、学業、学校内外における部活動の取組状況、各種大会やコンクール等における記録・成績、表彰を受けた行為、ボランティア活動等について総合的に記入する。ただし、2023年3月卒業の者については、指導要録の記載に基づいて記入する。

- (8) 「身体状況」の欄

健康状態、既往症等について記入する。

- (9) 「備考」の欄

5段階で評価されている場合は、その旨を記入する。また、特記事項のある場合、この欄に記入する。

学習成績一覽表

第3学年 組

※
番号

整理番号	氏名	学習の記録						合計
		国語	社会	数学	理科	音楽	美術	
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

整理番号	氏名	学習の記録						合計
		国語	社会	数学	理科	音楽	美術	
31								
32								
33								
34								
35								
36								
37								
38								
39								
40								
41								
42								
43								
44								
45								
46								
47								
48								
49								
50								

記載事項に相違ありません。

西暦 年 月 日

学校名

校長名

印

記載者氏名

印

学習成績一覧表の記入について

- 第3学年の12月末までの評定を学級全員について記入する。
- 各教科の評定は、調査書の「各教科の学習の記録」の第3学年の評定と合致するものとする。
- 氏名は志願者の氏名のみ1名分を記入し、他の生徒の氏名は記入しないで空欄とする。
- 学級の定員数が多い場合でも、必ず1枚で作成すること。
- 高知県外の中学校在学者については、当該都道府県所定のものを出してよい。
- 2023年3月卒業の者については作成しなくてよい。
調査書のみを提出すればよい。

活動記録報告書および添付資料作成上の注意

- ① 課外活動・学外活動における実績がある場合は、必ずこの活動記録報告書とその実績を証明する資料（表彰状、新聞等のコピー（日付つき）や、クラブ顧問・クラス担任等による実績を証明する文書で、用紙の大きさはA4サイズ以下とする）を添付すること。この添付資料がない場合には、実績の点数化ができなくなるので注意すること。
- ② 活動記録報告書の作成は、クラス担任、保護者、団体の責任者等があたり、実績を箇条書き（分野ごと学年順に）するとともに1つの実績に添付した資料の枚数を明らかにしておくこと。運動部の場合「スポーツテスト」を実施していれば、その記録も書くことが望ましい。実績の分野が複数にわたる場合は、適当な代表者（たとえば、クラス担任）が一括して作成してもよいし、実績の分野ごとにそれぞれの代表者が作成してもよい。相違ないことを証明する部分には、作成者の所属、部署を明らかにした上で、署名、捺印をすること。
- ③ 特に、個人の実績でなく団体の実績（たとえば、野球、サッカー、吹奏楽等での実績）の場合は、本人の状況を把握する必要があるので、本人の団体でのポジション、役割、貢献度を必ず書き添えておくこと。
- ④ 実績の分野ごとにそれぞれの代表者が活動記録報告書を作成する場合や、活動記録報告書1枚に実績を書ききれない場合は、コピー等して活動記録報告書を2枚以上にして作成してもよい。

課外活動・学外活動における実績

課外活動・学外活動における実績とは、次のA、B、Cのようなものをいい、中学の1年次から3年次までの間に挙げた実績でなければならない。

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none">A. 地区大会、県大会、それ以上の大会、各種コンクールで挙げた優秀な成績。B. 各方面で、客観的に認められる、卓越した技量、能力を有すること。C. 英語検定準2級以上の取得、漢字検定2級以上の取得、数学検定2級以上の取得、こども県展での推薦、特選受賞、読書感想文コンクールでの上位受賞等。 |
|--|

本校の沿革・教育方針

本校は1920年に「他日国民の翹望^{きょうぼう}する人士の輩出を期する」として設立されました。当初は男子のみの少数英才教育を実践していましたが、時代の進展や学制の改革にともない、1947年から男女共学の高等学校および中学校となりました。生徒定数も大幅に増員し、新しい時代の教育に対応して大きな実績を挙げ、卒業生は国の内外を問わず、いろいろな分野で活躍しています。

建学の精神を具体化するため、その後の歩みの中で整えられてきた教育方針が「学問を重んじ、礼節を尊び、スポーツを愛する学校生活」というものです。自学自習の習慣を身に付け、文武両道を達成することをめざして、現在、中学生761名、高校生889名がこの学校で学んでいます。

寄宿舎(向陽寮)

1988年4月開寮 鉄筋コンクリート3階建

収容人数 男子約60名(女子寮はない) 本校舎南約600m

全室個室、冷暖房完備、ベッド、学習机、ロッカー、カーテン備え付け

ロビー、大食堂、浴室、シャワー室、学習室、集会室等完備

寮費 月平均61,500円(冷暖房費、食費2食分を含む)

- ・2024年度入寮可能者数は約20名。

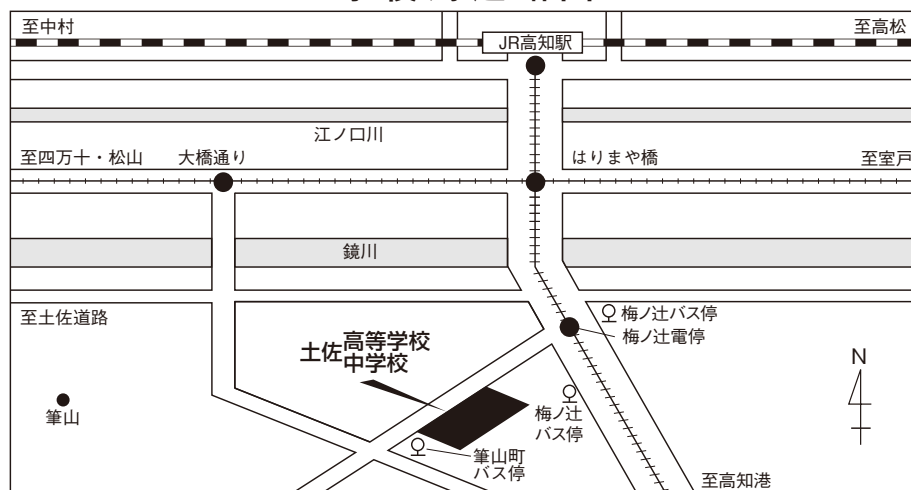
卒業生の大学合格状況

本校の性格上、就職希望者は毎年皆無に等しく、ほとんどが大学進学を希望する。

土佐高等学校の2023年度大学入試合格者数(本校確認分)は次の通り。

- ・国公立大合格者数 合計172名
北海道2, 東北1, 筑波3, 千葉1, 東京5, 東京医科歯科2, 東京学芸2, 東京工業1, 京都8, 京都工芸繊維3, 大阪10, 大阪教育2, 神戸10, 岡山8, 広島4, 徳島7, 香川9, 愛媛4, 高知35, 九州3, 東京都立2, 京都府立1, 大阪公立10, 神戸市外国語2, 高知県立1, 高知工科6, その他30
〔国公立大学医学部医学科合格者数 21名〕
- ・私立大合格者数 合計620名
青山学院4, 学習院2, 慶應義塾9, 国際基督教2, 駒澤3, 上智2, 専修4, 中央9, 津田塾1, 東海3, 東京理科9, 日本7, 法政11, 明治14, 立教4, 早稲田22, 藤田医科2, 京都薬科9, 同志社37, 立命館64, 龍谷33, 大阪医科薬科7, 関西36, 近畿69, 関西学院78, 神戸薬科1, 兵庫医科2, 自治医科2, その他174

学校周辺略図



■梅ノ辻電停下車徒歩3分



土佐高等学校

〒780-8014 高知市塩屋崎町一丁目1番10号

TEL 088-833-4394